

清瀬操吉 いらいせ さらき 詩人。明治二十八年十月二十日兵庫縣生れ、昭和四十二年十一月十七日歿（八五—九六）。關西藝術院、本郷洋書研究所の學び、草土社所屬の、のち文筆の轉じた。詩誌『詩』、『詩の泉』、『詩篇』同人。小説、美術評論なども。

著書『清瀬操吉書集・第壹輯』（大正九年十一月十日自刊、大正各所圖書社。附『詩篇』二十餘篇）、『詩集『空色』の國』（昭和二年一月五日民衆詩人社）、『畫房隨筆—代表的日本ニ十八畫家執筆』（編、昭和十七年六月二十五日錦城出版社）、詩集『一』の林檎』（昭和二十六年五月十二日昭森社）、同『晚陣』（昭和四十四年十一月十日刊）等。

